

本日のおもちかえり
2019年5月19日

- 1) 「神はまた、人の心に永遠の思いを与えられた」(伝道の書3:11)とありますが私達は「永遠」についてどんなことを思いますか。

- 2) パウロは『もしキリストがよみがえらなかつたら、わたしたちの宣教はむなしく、あなたがたの信仰もまたむなしい』(第一コリント15:14)と言いました。なぜですか？

- 3) 「死ぬこと」について世ではどのように言われていますか。あなたが納得し、心に平安を得るような言葉がありますか？

- 4) 『ちりはもとのように土に帰り、霊はこれを授けた神に帰る』(伝道の書12:7)ということは私達の死後について何を言っていますか。

- 5) イエス様は有力な政治家や無敵の軍人にはなり、経済を発展させたり、強国を作り上げようとはなさらずに十字架と復活に焦点を当ててその公生涯を歩まれました。なぜですか？

- 6) 『いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい』(第一テサロニケ5:16-18)という生き方は簡単ですか。何がこの生き方を可能にしますか→『これが、キリスト・イエスにあって、神があなたがたに求めておられることである』(第一テサロニケ5:18)

- 7) ペリピ1:20-23を読みましょう。パウロにとって「生きること」と「死ぬこと」の違いは狭まり、かえって彼は死んで主と共にいることを望みました。なぜですか。

- 8) イエス・キリストが勝敗について語る時に、いつもそれは「世に対する勝利」でした(ヨハネ16:33、1ヨハネ5:5)。究極的に世に勝つということはどんな勝利を意味するのでしょうか。